

中間支援活動助成(創設支援)事業実績報告

団体名	(一社)みくもや	代表者名	理事長 大福 総平
事業名	若者に特化した中間支援事業U x C a m p u s (ユーキャンパス)		

<事業実施実績>

	①相談業務	②ネットワークの構築 情報提供	③人材育成 (講座開設等)	④書類作成 指導	⑤その他 調査研究等	⑥支援・指導 ・連携
R4 計画	-	-	-	-	-	3
R4 実績	2 3	5 5	-	5	-	2

<効果と成果>

<p>当団体の事業に関連する様々な個人・団体等と相互に①相談・②情報提供・ネットワーク・④書類作成指導を実施したことによって、「みくもやとどのような連携・協働が可能なのか」が具体的にイメージされつつあるのが成果である。以下に事例を簡潔に記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から接点のあった NPO と交流会で出会い、空き家の話題になったことから地域と学生の交流拠点づくりの可能性を協議した。 ・商店街から事務局業務の相談を受けたことをきっかけに、学生等が商店街の広報（イベント企画運営等）にも携わるような連携の可能性を協議した。 <p>以上のように、中間支援組織として様々な接点をつくることによって、学生や若者が街と関わる環境づくりを今後も進めていく。</p>
--

<連携と協働の成果>

<p>当法人立ち上げ前からつながりのある行政各部署や中間支援団体と改めて顔合わせや連携の確認を行うことで、学生や若者と地域がつながる機会に関して相談をいただける関係の基礎を築くことが出来た。</p> <p>また引き続き団体立ち上げ前からつながりのある元学生や地域活動団体、NPO 等からも引き続き活動や運営の相談なども受け付けており、助成金や補助金の情報提供や事業運営にあたっての個別相談対応も行っている。</p> <p>また、デザイン・クリエイティブセンター神戸とは KIITO:300FARM トークイベント「300 秒プレゼンテーション交流会」への登壇をはじめ、「ちびっこうべ」のサポーター参加や神戸市関連のイベントでの協力など様々な連携を行った。</p>

<今後の展望>

今後の展望として主に2点の方向性を検討中である。1点目の方向性は今年度に構築したネットワークを活かして、関係者と協働事業を展開することである。例えば、今年度は空き家空き地等の利活用、商店街の活性化などに関連するNPO・企業・行政と関係性を深めてきた。これらをより具体的なプロジェクトにすることによって、学生や若者が街と関わる機会を創出する予定である。

2点目の方向性は、よりダイレクトに学生や若者と繋がるための「交流拠点づくり」や「サービスの開発」である。これは1点目とも関連しているが、ここではより学生や若者のニーズに重点を置き、学生同士の交流促進や1人1人の「やってみたい」を支援する仕組みづくりなどを想定している。

以上のように、今後は「Will・Can・Must」を兼ね備えた方法を検討し、実践を通じて改善を行っていきたい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	7,391
合計	507,391

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経 費	広告宣伝費	411,680	411,680
	小 計	411,680	411,680
	間接経費 (一般管理費)	95,711	88,320
	合 計	507,391	500,000